

# JMC 米欧亜 IT トレンドウォッチ

2008 年 6 月 10 日

## 欧州編：

### 2008 年が転換期になるか？欧州モバイル市場

携帯電話の普及率が高く、関連市場の伸び悩みが目立つ欧州の携帯関連市場だが、欧州委員会のモバイル TV 規格の統一発表と 2 つの大きなスポーツ・イベントをきっかけとして、モバイル TV を梃子とした同市場再活性化が期待されている。

#### <成長の余地の多い欧州モバイル TV 市場>

フランスの調査会社 IDATE の「DigiWorld Yearbook 2008」によると、2007 年の欧州全域のテレコム・サービスの推定市場規模は、前年比 3% 増に留まった。これには 2006 年以降の携帯電話サービスの欧州全域平均普及率が 100% を超えているなどの背景がある。また、携帯電話端末の出荷台数成長も鈍化傾向にあり、西欧における 2008 年第 1 四半期の携帯電話出荷台数は、前年同期比 16.4% 減の 3,590 万台となり、2001 年以降初めてのマイナス成長と調査会社 IDC が、5 月 28 日付けで発表している。このように携帯利用が普及しきった感のある欧州だが、携帯電話上で TV を視聴できるモバイル TV サービスについてはこれからだ。5 月 5 日付 New York Times 紙が、世界のモバイル TV 利用者は、2007 年の 2,970 万人から、2008 年に 5,690 万人に増加するとの In-Stat の予測を報じた。世界モバイル TV 市場は、現在のところ、対応機種が広く出回る日本と韓国の 2 ヶ国が牽引している状態で、2007 年に欧州で最多のモバイル TV 利用者となったイタリアでも約 100 万人に留まっているとしている。また、別の調査会社 Gartner の 2007 年の調査を基にした 5 月 28 日付 Herald Tribune 紙の記事では、アジアの携帯利用者の約 20% が携帯電話で TV やビデオを視聴することに興味を示したが、欧州ではまだ約 5% とのこと。

#### <サッカー好きイタリアが 2008 年欧州モバイル TV の牽引役>

アジアに圧され気味の欧州だが、IDATE は、2008 年 2 月に発表した通信関連報告書「Mobile 2008」の中で、イタリアのモバイル TV 市場は、2008 年に利用者が増加すると予測している。イタリアのモバイル TV サービスは、2006 年に 3 Italia など携帯電話事業者 3 社により開始されたが、2007 年は、モバイル TV 対応機種に限られた上に高額で、さらに視聴可能な TV プログラムも限定されていたことから、利用者数の増加に伸び悩んだ。しかし、2008 年は、Euro2008 (欧州サッカー大会) に北京オリンピックと 4 年に一度のスポーツ・イベントが 2 つ控えており、市場への大きな刺激になると、IDATE は見ている。イタリアで利用者が増加すれば、欧州全体でのモバイル TV の普及につながるとの声もある。欧州消費者の注目を集める大イベントに加え、欧州委員会による「DVB-H」方式を欧州の公式モバイル TV 規格に統一するとの発表 (2008 年 3 月) など、携帯メーカーがどのようにこうしたチャンスを利用するのか注目されている。